

# 槇 あさ美 展

ASAMI MAKI EXHIBITION

さまざまな場面を切り取った、躍動感あふれる動物たち。一つ一つ作品に命をふきこんでいくのが楽しい。

一年に一度だけ毎回集中して仕上げてきた。制作中は色々なことを考えて頭がフル回転している…

…風に靡く羽根や尻尾、楽しげな表情、どんな気持ちで走っているのだろう

…警戒しているのか遊んでいるのか…

…言葉を話さない、いや本当は話しているのだろうけど、人間の私には想像もつかないものかもしれない… ずっと考え続けながら体を動かして作っていく。

自由にのびのびと動き回る生き物たちを、人が作り出した紙や段ボールや廃材の無機物を組み合わせて作っていくという魅力に惹きつけられて離れられない。

ある日 新聞紙や段ボールを形にして樹脂で固めてみたところ、楽しく形が作れた。その後 私のスタイルとなり、現在は仕事や子育ての合間にポンドに紙を浸して芯に付け、固めるのを繰り返して制作している。

動物の動きに合わせた独特のなびき方、流れ方、躍動感を表すのに最適な可塑性は紙の他にはない。この素材でしか出せない生命感がある。

今度は どんな動物に会えるのだろう。自分の作品だが、出来上がると「会えた」という喜びが込み上げる。

また 新たな動物たちに出会えるのを 日々楽しみにしている。

森に迷い込んだかのような、動物たちとの出会いをどうぞお楽しみください。

槇 あさ美



「ひひいん（子）」 W45D90H90 ・ はりこ紙、段ボール、縄、木材



「めんどり」 W40D30H30 ・ 段ボール ・ はりこ紙



## 略歴

- 1983 東京都生まれ
- 2006 東京学芸大学教育学部芸術文化過程美術専修 卒業
- 2006～2008 創型展 入選
- 2007 新制作展 初入選
- 2008 東京学芸大学大学院 美術教育科 修士課程 修了
- 2010 同大学院 彫刻研究室 研究生 修了
- 2014 「アサミマキ展」(スマートシップギャラリー)
- 2019 新制作展 新作家賞
- 2020 新制作 彫刻部 受賞作家展  
新制作展 シード作家 新作家賞
- 2021 新制作 彫刻部 受賞作家展
- 2022～2024 新制作展 入選 (初入選から計16回)

- 右上「ひひいん（親）」 W65D190H110 ・ はりこ紙、段ボール、縄、木材
- 右中「けもの道」 W65D150H110 ・ はりこ紙、段ボール、縄、木材
- 右下「夜行性」 W70D100H90 ・ 段ボール、木の実、新聞紙、針金、FRP

2025年4月7日(日) - 6月29日(日) 10:00 - 18:00 観覧無料

休館日 4月21日(日)、5月19日(日)、6月9日(日) ロゼシアター休館日に休館

特別講座 アーティストトーク 5月4日(日) 13:30 - 14:30 無料・申込不要

主催 富士市 主管 一般社団法人富士芸術村

最新情報は Website・facebook・Instagram をご参照いただくか、お電話にてお問合せください。



ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。2016年11月1日開館

- 交通 車の場合は、東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km  
バスの場合は、JR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」で下車し徒歩2分  
新幹線 JR新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車  
\*発車駅によって到着するバス停が異なりますので お帰りの際はご注意ください。
- 駐車場 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。  
\*ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。



ふじ・紙のアートミュージアム  
Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター1階 東側奥  
TEL.0545-32-6581 FAX.0545-32-6582 <https://www.fuji-paperart.jp>